

作成者:大賀 崇宏

科 目 名	学 科 / 学 年	年 度 / 時 期	授 業 形 态
社会科学 I (遠隔)	公務員学科／1年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数 (時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位 (30時間)	必須

授 業 の 概 要

高卒程度公務員試験に対応した、「政治」「経済」「社会」や時事問題について学ぶ。

【実務経験】初級公務員試験対策指導27年

授業終了時の到達目標

高卒程度公務員試験1次教養試験での合格

高卒程度公務員模擬試験において50%以上の正解率

回	テ ー マ	内 容		
1	政治 1 民主主義の基本原理と制度	民主政治の基本原理、民主政治の思想、主要国の政治制度		
2	経済 1 市場経済	需要と供給、市場の形態（独占・寡占）、現代の企業		
3	政治 2 日本国憲法の原理と基本的人権	憲法の役割、新旧憲法の比較、基本原理、人権各論		
4	政治 2 日本国憲法の原理と基本的人権	憲法の役割、新旧憲法の比較、基本原理、人権各論		
5	経済 2 国民経済の流れ	経済循環、国民所得、景気変動、金融の仕組み、財政の仕組み		
6	経済 2 国民経済の流れ	経済循環、国民所得、景気変動、金融の仕組み、財政の仕組み		
7	政治 3 日本国憲法の統治機構	三権分立、国会、内閣、裁判所、地方自治		
8	政治 3 日本国憲法の統治機構	三権分立、国会、内閣、裁判所、地方自治		
9	経済 3 日本経済の発展	戦後日本経済史、産業構造の変化		
10	政治 4 政治の諸問題	政党と圧力団体、選挙制度、マスメディア他		
11	経済 4 国際経済の動向と経済協力	貿易と国際収支、外国為替、戦後の国際経済体制、地域的統合、開発途上国問題		
12	政治 5 国際政治	国際政治の基本、国際連合、地域紛争他		
13	社会 1 労働・消費者問題、社会保障	労働関係の諸制度・諸法、労働事情、消費者問題、社会保障制度の歴史、日本の社会保障制度、最近の法制定・改正		
14	社会 2 人口問題・地球環境問題	世界の人口、日本の人口、医療問題、地球環境問題、新たな取組み、公害防止		
15	期末試験	期末試験（実戦問題、過去問演習）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『オープンセサミ①政治・経済・社会』		期末試験 確認テスト 課題レポート	50% 20% 30%	教科書を予習する とともに、教科書 の練習問題を授業 後行うこと。

作成者:大賀 崇宏

科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態
社会科学 I	公務員学科／1年	2025／前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須

授業の概要

高卒程度公務員試験に対応した、「政治」「経済」「社会」や時事問題について学ぶ。

【実務経験】初級公務員試験対策指導27年

授業終了時の到達目標

高卒程度公務員試験1次教養試験での合格

高卒程度公務員模擬試験において50%以上の正解率

回	テ　ー　マ	内　容
1	政治 1 民主主義の基本原理と制度	民主政治の基本原理、民主政治の思想、主要国の中の政治制度
2	経済 1 市場経済	需要と供給、市場の形態(独占・寡占)、現代の企業
3	政治 2 日本国憲法の原理と基本的人権	憲法の役割、新旧憲法の比較、基本原理、人権各論
4	政治 2 日本国憲法の原理と基本的人権	憲法の役割、新旧憲法の比較、基本原理、人権各論
5	経済 2 国民経済の流れ	経済循環、国民所得、景気変動、金融の仕組み、財政の仕組み
6	経済 2 国民経済の流れ	経済循環、国民所得、景気変動、金融の仕組み、財政の仕組み
7	政治 3 日本国憲法の統治機構	三権分立、国会、内閣、裁判所、地方自治
8	政治 3 日本国憲法の統治機構	三権分立、国会、内閣、裁判所、地方自治
9	経済 3 日本経済の発展	戦後日本経済史、産業構造の変化
10	政治 4 政治の諸問題	政党と圧力団体、選挙制度、マスメディア他
11	経済 4 国際経済の動向と経済協力	貿易と国際収支、外国為替、戦後の国際経済体制、地域的統合、開発途上国問題
12	政治 5 国際政治	国際政治の基本、国際連合、地域紛争他
13	社会 1 労働・消費者問題、社会保障	労働関係の諸制度・諸法、労働事情、消費者問題、社会保障制度の歴史、日本の社会保障制度、最近の法制定・改正
14	社会 2 人口問題・地球環境問題	世界の人口、日本の人口、医療問題、地球環境問題、新たな取組み、公害防止
15	期末試験	期末試験(実戦問題、過去問演習)

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
『オープンセミ①政治・経済・社会』	期末試験 課題(指定の模試) 日常点	50% 30% 20%	教科書を予習する とともに、教科書 の練習問題を授業 後行うこと。

作成者：篠原啓子

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
人文科学 I (地理系)	公務員学科／1年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	15回	2単位 (30時間)	必須

授業の概要

以下の1、2を繰り返し行うことで、地理分野の頻出事項を確実に暗記し、公務員試験の得点源とすることが目的。

1. 講義（科目担当作成のプリントを使用）を受けた上で復習、暗記をし、知識のインプットを行う。
2. 記述問題、5択問題の答練にあたり、知識のアウトプットを行う。

授業終了時の到達目標

- ・幅広く基礎を理解し、公務員試験合格を目指す
- ・繰り返し問題にあたることで、一次試験合格のコツを身につける
- ・多岐にわたる公務員試験の出題範囲に対応するため、計画的かつ効率的な学習を行う

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

回	テーマ	内 容
1	Lesson1: 自然環境①	(1) 大地形 ・安定陸塊、古期造山帯、新期造山帯 (2) 小地形 ・侵食平野（準平原、構造平野） ・堆積平野（沖積平野、洪積台地） ・海岸の地形（離水海岸、沈水海岸）
2	Lesson1: 自然環境②	(2) 小地形 ・特殊な海岸地形 ・特殊な地形（カルスト地形、氷河地形、乾燥地形、火山地形） (3) 大気・海流・水
3	Lesson2: 気候・土壤①	(1) 気候要素 ・気温の較差、風 (2) ケッペンの気候区分 ・熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯
4	Lesson2: 気候・土壤②	(2) ケッペンの気候区分 ・雨温図、ハイサーグラフ (3) 土壤 ・成帶土壤、間帶土壤
5	Lesson3: 民族・人口・交通・地図	(1) 地図 ・正積図法、正角図法、正方位図法 (2) 人口 ・人口、人口動態、人口問題 (3) 民族 ・主な人種問題、主な先住民族、各国の民族問題
6	Lesson4: 世界の農林水産業	(1) 農牧業 ・自給的農業、商業的農業、企業的農業 ・主な農産物 (2) 各国の農業 ・ヨーロッパ、中国、アメリカの農業の特徴について

7	Lesson4：世界の農林水産業 Lesson5：世界の鉱工業	(3) 林業、水産業 (1) エネルギー資源 ・石炭、石油、天然ガス、電力 (2) 鉱産資源 ・鉄鉱石、非鉄金属		
8	Lesson6-1：アジア地誌	(1) 中国 地勢、気候、農業、民族、鉱工業 (2) 東南アジア 地勢、気候、農業、ASEAN、各国の特徴、鉱工業		
9	Lesson6-1：アジア地誌 Lesson6-2：アフリカ地誌	(3) 南アジア、西・中央アジア 地勢、気候、農業、民族・宗教、鉱工業 ～アフリカ～ 地勢、気候、民族・内乱、農業、鉱工業		
10	Lesson8-1：南北アメリカ地誌	～アングロアメリカ、ラテンアメリカ～ ・地勢、気候、人種・民族、農業、鉱工業、各国の特徴		
11	Lesson8-2：オセアニア地誌	～オーストラリア、ニュージーランド～ 地勢、気候、農業、鉱工業（産業）		
12	Lesson7-1：ヨーロッパ地誌	～ヨーロッパ～ 地勢、気候、民族・宗教、農業、鉱工業、EU、各国の特徴		
13	Lesson7-2：ロシア地誌	～ロシア～ 地勢、気候、農業、民族紛争、CIS、鉱工業		
14	Lesson9, 10：日本の自然・貿易、産業	(1) 日本の自然・貿易 ・日本の気候、人口、領土問題、主な河川・平野・盆地、貿易相手 (2) 日本の産業 ・農業、林業、水産業、鉱工業について		
15	確認テスト			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・「公務員合格セミナー 初級本科 人文科学テキスト」 実務教育出版 ・「公務員合格セミナー 初級本科 人文科学演習ブック」 実務教育出版 ・「公務員合格セミナー 初級本科 人文科学確認ワーク」 実務教育出版 ・「新詳地理資料COMPLETE」 帝国書院		期末試験 確認テスト 課題レポート	50% 20% 30%	【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストやプリントを用いて予習する

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
人文科学Ⅰ	公務員学科／1年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	45回	6単位（90時間）	必須

授業の概要

高卒程度公務員試験1次教養試験での合格をめざし、日本史・世界史・地理、また文化史と文学史を関連させて学習することによって学習効率と知識の定着率を高める。本試験での出題傾向を考慮し、各回以下の授業計画に加えて、確認テストを繰り返しおこない、直前期に復習講義を行う。

【実務経験】盈進中高等学校で、社会科教師として、33年勤務した。

授業終了時の到達目標

高卒程度公務員模擬試験において60%以上の正解率

回	テーマ	内容
1	日本史：古代1	縄文時代・弥生時代
2	日本史：古代2	奈良時代
3	日本史：古代3	平安時代
4	世界史：古代ヨーロッパ史1	ギリシア・ローマ1
5	世界史：古代ヨーロッパ史2	ギリシア・ローマ2
6	世界史：中世ヨーロッパ史1	ゲルマン人の大移動・フランク王国
7	世界史：中世ヨーロッパ史2	十字軍・中世イギリス史・中世フランス史
8	日本史：中世1	鎌倉時代1
9	日本史：中世2	鎌倉時代2
10	日本史：中世3	室町時代1
11	日本史：中世4	室町時代2
12	世界史：中国史1	殷～唐
13	世界史：中国史2	宋～明
14	世界史：中国史3	清～現代
15	日本史：織豊政権～江戸前期1	織豊政権
16	日本史：織豊政権～江戸前期2	江戸時代1
17	日本史：織豊政権～江戸前期3	江戸時代2

回	テ　ー　マ	内　　容
18	世界史：近代ヨーロッパ史1	ルネサンス・大航海時代
19	世界史：近代ヨーロッパ史2	市民革命
20	世界史：近代欧米史後半1	イギリス・フランス
21	世界史：近代欧米史後半2	ドイツ・イタリア・ロシア
22	日本史：江戸後期1	享保の改革・田沼政治
23	日本史：江戸後期2	寛政の改革・天保の改革
24	日本史：江戸後期3	開国
25	日本史：江戸後期4	討幕
26	日本史：明治時代1	明治維新
27	日本史：明治時代2	自由民権運動・憲法制定
28	日本史：明治時代3	条約改正・日清戦争
29	日本史：明治時代4	日露戦争・産業革命
30	世界史：現代1	帝国主義・第一次世界大戦
31	世界史：現代2	第一次世界大戦後
32	世界史：現代3	世界恐慌・第二次世界大戦
33	日本史：大正時代1	第一次世界大戦
34	日本史：大正時代2	大正デモクラシー
35	日本史：昭和～現代1	軍部の台頭
36	日本史：昭和～現代2	第二次世界大戦
37	世界史：現代4	冷戦
38	世界史：現代5	現代
39	日本史：昭和～現代3	戦後の民主化
40	日本史：昭和～現代4	高度経済成長期
41	日本史：昭和～現代5	現代

回	テ　ー　マ	内　　容		
42	問題演習	公務員試験対策		
43	問題演習	公務員試験対策		
44	問題演習	公務員試験対策		
45	期末試験	期末試験（問題演習から）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『オープンセミシリーズ 日本史・世界史・地理』東京アカデミー編		期末試験 小テスト・提出物	80.0% 20.0%	

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
自然科学 I	公務員学科／1年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	30回	4単位（60時間）	必須

授業の概要

高卒程度公務員試験1次教養試験に出題される理科（生物・化学・地学・物理）および数学の分野の講義を行う。本試験での出題傾向を考慮した確認テストを行い、理解の定着を図る。

授業終了時の到達目標

以下の到達目標を達成し段階的評価を実施する

自然科学の分野において、

- A : 公務員試験で出題される問題の概ね80%程度を理解している
- B : 高校時に既習の単元は概ね理解している
- C : 単純な問題を見つけて確実に解くことが出来る

回	テーマ	内容
1	地学①	地球の構造・火山
2	地学②	地震
3	地学③	地層・大気・海洋
4	地学④	気象・気圧・天気
5	地学⑤	宇宙・太陽系・恒星
6	地学⑥	太陽・星の日周運動・季節の星座
7	地学⑦	地学演習
8	生物①	細胞・エネルギーと代謝・光合成
9	生物②	呼吸・体内循環・体内環境の調整
10	生物③	神経とホルモンによる調整・免疫
11	生物④	感覚器官・脳のはたらき・DNAと細胞分裂
12	生物⑤	生殖・遺伝の法則
13	生物⑥	植物の反応と調整・生態系食物連鎖
14	生物⑦	生物演習

15	化学①	物質の構成・原子と分子・化学結合	
16	化学②	原子量・分子量・化学反応式・物質の状態変化	
17	化学③	気体の性質・溶液の性質・酸と塩基・中和	
18	化学④	酸化と還元・イオン化傾向と電池	
19	化学⑤	電気分解・周期表・非金属元素・金属元素・有機化合物	
20	化学⑥	化学演習	
21	物理①	物体の運動・落下運動	
22	物理②	ばね・力のつり合い	
23	物理③	電流と磁界・力学的エネルギー	
24	物理④	波動・光他	
25	物理⑤	物理演習	
26	数学①	2次関数・2次方程式	
27	数学②	数列・微分法	
28	数学③	三角比・三角関数	
29	数学④	数学演習	
30	総合演習	総合演習	
教科書・教材	評価基準	評価率	その他
オープンセミシリーズ ④公務員（数学・理科）	試験 小テスト①（数学） 小テスト②（物理・化学） 小テスト③（生物・地学）	50% 10% 20% 20%	数学・理科の科目の順番・コマ数は理解度に応じて変更する

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
判断推理 I (遠隔授業)	公務員学科／1年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須

授業の概要

本科目は、公務員試験の最重要科目のひとつに位置づけされる科目であり、公務員試験全体に共通する課題発見力、論理的思考力、課題解決力の本質を学ぶ科目である。また、課題解決手法の習得を通じて問題の本質を見極めることに关心が高まると同時に他領域への学習意欲が高められることをねらいとする。

授業終了時の到達目標

①出題文から課題を適切に読み取り、②解決手法を試行することで、③出題者が求める解決に辿りつくというプロセスを身につけることを目標とする。また、具体的な成果として判断推理分野の正答率6割以上を目標とする。

実務経験有無

実務経験内容

時間外に必要な学修

演習用の問題集や模試問題などを用いた類題の演習

回	テーマ	内容
1	授業概要説明・論理	授業の進め方および・論理と集合の基礎
2	集合・人数	ベン図、キャロル図、線分図の3つの解法を習得する。
3	発言推理(うそつき)	発言内容に「うそ」が含まれる発言推理の問題において3つのパターンをマスターする。
4	対応関係	判断推理における主要分野である対応関係について、対応表の書き方をマスターする。
5	順序関係1	順位、体重、身長、年齢、時刻など順番に並べて考える問題について、数直線やブロック化技法にて解けるようになる。
6	順序関係2	順序が変動する問題や、大小関係がなく「差」が与えられたときの解法と時刻と時計のずれに関する問題の解法を理解する。
7	試合・勝敗	試合におけるリーグ戦とトーナメント戦における問題解法をマスターする。
8	位置・方位	マンションや駐車場、座席の位置関係に関する問題演習と東西南北に関する方位に関する解法をマスターする。
9	手順	天秤ばかりに関する問題、油分け算、ハノイの塔、定員ありの移動問題。
10	道順・位相	最短経路の道順解法や一筆書き問題に関する演習。
11	展開図	立体图形の展開図に関する問題、サイコロに関する問題。
12	軌跡	直線や円周上を图形が転がる際に特定の点が描く軌跡を求める。
13	空間图形の分割	少立方体を集めてできた立体に色を塗ったり、串刺したり、平面で切断した際の断面に関する問題演習。
14	多面体・切断・回転・空間图形の投影	正多面体における图形の特徴や图形の切断面・回転体
15	確認テスト	これまでの学習したテーマからの出題による確認テストの実施。

教科書・教材

評価基準

評価率

その他

①オリジナルプリント	期末試験 確認テスト 課題レポート	50% 20% 30%	授業において紹介する解法を確実に理解し、演習の時間に類題をしっかり解いてマスターしてください。
------------	-------------------------	-------------------	---

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
判断推理 I	公務員学科／1年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	30回	4単位（60時間）	必須

授業の概要

高卒程度公務員試験1次教養試験の出題傾向を考慮した、判断推理の講義と演習を行う。

授業終了時の到達目標

高卒程度公務員模擬試験において60%以上の正解率を目指す。

回	テーマ	内容
1	(判断) 命題	・論理と集合・対偶の求め方・三段論法の考え方・ドモルガンの法則
2	(判断) 暗号	・暗号のタイプと問題例
3	(判断) 試合の勝敗	・試合数の定則・トーナメント戦の解法・リーグ戦の解法
4	(判断) 対応①	・対応表の書き方・要素が2項目ある場合の解き方
5	(判断) 対応②	・対応表から場合分けする解法・対応表によらない解法・選択肢にあてはめる解法など
6	(判断) うそつき	・グループ分けの方法・半分ウソ半分ホントの解法・犯人探しの解法
7	(判断) 順位(順序)	・条件から場合分けをする解法・折り返す問題・数直線や図による解法・他
8	(判断) 順位(数値)	・樹形図による解法・時計のずれの問題・他
9	(判断) 位置・方位	・テーブル(円卓・長方形)の座席問題・部屋(建物)等の位置関係のブロック化による解法・八方位の問題・他
10	(判断) 集合	・ベン図の書き方・計算手法・数直線を用いる問題・キャロル図による解法
11	(判断) 道順	・最短経路の解き方・一筆書き
12	(判断) 手順	・天秤ばかりの解き方・渡河問題・ハノイの塔・計量カップの移し替え問題・他
13	(判断) 曜日・規則性	・曜日の問題・数の数列の問題・マス目等の規則性の問題・他
14	(判断) 魔方陣・その他問題	・奇数偶数魔方陣の解法・様々な魔方陣の解法・その他問題(家系図等)
15	(判断) 平面図形	・折り紙問題・平面図形の構成等の問題など
16	(判断) 軌跡	・軌跡問題の解法

17	(判断) 多面体	・多面体の種類・展開図問題の解法・他
18	(判断) 立体①	・立体を積み上げた問題・サイコロの問題・他
19	(判断) 立体②	・立体の切断・投影図の問題・他
20	(判断) 確認テスト	判断推理分野の確認テスト
21	総合演習①	総合演習(過去問等)
22	総合演習②	総合演習(過去問等)
23	総合演習③	総合演習(過去問等)
24	総合演習④	総合演習(過去問等)
25	総合演習⑤	総合演習(過去問等)
26	総合演習⑥	総合演習(過去問等)
27	総合演習⑦	総合演習(過去問等)
28	総合演習⑧	総合演習(過去問等)
29	総合演習⑨	総合演習(過去問等)
30	総合演習⑩	総合演習(過去問等)
教科書・教材		評価基準
オープンセサミ⑤一般知能 過去問演習プリント		期末試験 確認テスト 課題レポート
		評価率
		50%
		20%
		30%
その他		

作成者:馬場 隆信

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
数的処理 I (遠隔授業)	公務員学科／1年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須

授業の概要

本科目は、公務員試験の最重要科目のひとつに位置づけされる科目であり、公務員試験全体に共通する課題発見力、論理的思考力、課題解決力の本質を学ぶ科目である。また、数学的な要素が占める割合が高い分野であり、他の科目に求められている数学的な処理の土台を固めることもねらいとする。

授業終了時の到達目標

①出題文から条件を適切に読み取り、②適切な数式化を実行することで、③出題者が求める解決に辿りつくというプロセスを身につけることを目標とする。また、具体的な成果として数的処理分野の正答率6割以上を目指す。

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

演習用の問題集や模試問題などを用いた類題の演習

回	テーマ	内 容
1	速度問題の基本	①通過算②旅人算
2	速度問題の応用①	①仕事算②ニュートン算
3	速度問題の応用②	①時計算②流水算
4	割合①	①比②増減
5	割合②	①濃度②仕事算
6	場合の数と確率①	①場合の数②順列③組合せ
7	場合の数と確率②	①確率②期待値
8	整数①	①倍数と約数
9	整数②	①さまざまな整数問題
10	整数③	①数列・規則②魔方陣など
11	図形①	①角度②三角形
12	図形②	①図形の比と相似②円と扇形
13	図形③	①立体②展開図
14	資料解釈	①図表②グラフ
15	確認テスト	確認テスト

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
①オリジナルプリント	期末試験 確認テスト 課題レポート	50% 20% 30%	授業において紹介する解法を確実に理解し、演習の時間に類題をしっかり解いてマスターしてください。

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
数的推理 I	公務員学科／1年	2025／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	15回	2単位（30時間）	必須
授業の概要			
高卒程度公務員試験1次教養試験の出題傾向を考慮した、判断推理、数的推理の講義と演習を行う。			
授業終了時の到達目標			
高卒程度公務員模擬試験において60%以上の正解率を目指す。			
回	テーマ	内容	
1	(数的) 1次方程式 (数的) 2次方程式・不等式	・1次方程式を使う問題・数の計算の問題・料金・年齢に関する問題・不定方程式(文字の数より式の数が少ない場合)他 ・2次方程式を使う問題・不等式の問題	
2	(数的) 過不足・平均	・過不足の問題・平均の問題	
3	(数的) 速さと比	・速さの3式を使う解法・速さと比の関係	
4	(数的) 旅人算	・旅人算の解法・出会い算や追い越し算の問題	
5	(数的) 流水・通過算	・流水算、通過算の解法	
6	(数的) 比・割合①	・比や割合・増減の問題	
7	(数的) 比・割合②	・食塩水の濃度の問題	
8	(数的) 損益	・売買や利益・原価・定価の問題	
9	(数的) 仕事算	・仕事算の問題・ニュートン算の解法・ポンプ算の問題	
10	(数的) 覆面算・時計	・覆面算の問題・時計の長針短針の問題	
11	(数的) 数の性質・進法	・数の性質の問題(あまり・約数・倍数等)・N進法の問題	
12	(数的) 平面図形	・角度の問題・三角形や多角形の問題・図形の比や相似の問題 ・円とおうぎ形の問題・他	
13	(数的) 立体図形	・立体図形の体積の問題・他 ・立体図形の展開図に関する問題・他	
14	(数的) 場合の数	・数え上げ・順列の問題 ・組合せの問題	
15	(数的) 確率、資料解釈 確認テスト	・組合せと確率・余事象の確率の問題 ・様々なグラフの読み取り手法について・計算方法の学習 確認テスト	
教科書・教材	評価基準	評価率	その他
オープンセサミ⑤一般知能 過去問演習プリント	期末試験 確認テスト 課題レポート	50% 20% 30%	

作成者: 大賀 崇宏

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
公務員総合演習 I a	公務員学科／1年	2025／前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	30回	4単位(60時間)	必須
授業の概要			
高校卒業程度、初級公務員試験を対象とした教養(基礎能力)試験対策。 模擬試験			
授業終了時の到達目標			
模擬試験での成果率=50%以上			
回	テーマ	内容	
1	模擬試験(1)	高卒程度公務員試験全国模擬試験	
2	模擬試験(2)	高卒程度公務員試験全国模擬試験	
3	模擬試験(3)	高卒程度公務員試験全国模擬試験	
4	模擬試験(4)	高卒程度公務員試験全国模擬試験	
5	模擬試験(5)	高卒程度公務員試験全国模擬試験	
6	模擬試験(6)	高卒程度公務員試験全国模擬試験	
7	模擬試験(7)	高卒程度公務員試験全国模擬試験	
8	模擬試験(8)	高卒程度公務員試験全国模擬試験	
9	模擬試験(9)	高卒程度公務員試験全国模擬試験	
10	模擬試験(10)	高卒程度公務員試験全国模擬試験	
11	模擬試験(11)	高卒程度公務員試験全国模擬試験	
12	模擬試験(12)	高卒程度公務員試験校内模擬試験	
13	模擬試験(13)	高卒程度公務員試験校内模擬試験	
14	模擬試験(14)	高卒程度公務員試験校内模擬試験	
15	模擬試験(15)	高卒程度公務員試験校内模擬試験	
教科書・教材		評価基準	評価率
東京アカデミー模擬試験 4回 実務教育出版 公務員模擬試験 4回 ウイネット公開(国家、地方) 2回 TAC校内模擬試験 1~20		期末試験 課題 課題の報告	60% 20% 20%
			提出物は期限を守り、必ず提出すること。

作成者：内海 恭

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
公務員総合演習 I b	公務員学科／1年	2025／前期	講義・問題演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	15回	2単位（30時間）	必須
授業の概要			
高卒程度公務員試験1次教養試験での合格をめざして文章理解を学ぶ。各回とも以下の授業計画で問題演習を行う。			
【実務経験】盈進中高等学校で、社会科教師として、33年勤務した。			
授業終了時の到達目標			
高卒程度公務員模擬試験において 60 %以上の正解率。			
回	テーマ	内容	
1	問題演習1	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど	
2	問題演習2	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど	
3	問題演習3	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど	
4	問題演習4	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど	
5	問題演習5	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど	
6	問題演習6	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど	
7	問題演習7	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど	
8	問題演習8	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど	
9	問題演習9	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど	
10	問題演習10	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど	
11	問題演習11	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど	
12	問題演習12	公務員試験対策	
13	問題演習13	公務員試験対策	
14	問題演習14	公務員試験対策	
15	期末試験	期末試験（問題演習から）	
教科書・教材	評価基準	評価率	その他
『オープンセサミシリーズ 文章理解・国語』東京アカデミー編	期末試験 小テスト・提出物	80.0% 20.0%	

作成者:大賀崇宏

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
公務員総合演習 I c	公務員学科／1年	2025／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	60回	8単位 (128時間)	必須
授業の概要			
高卒程度公務員試験の教養（基礎能力）試験対策として、各科目的問題演習を行う。 各公務員の業務の内容について詳しく研究し、志望先を定めるとともに、面接試験対策を行う。			
授業終了時の到達目標			
公務員模擬試験、正解率＝50% 自らが志望する公務員の職種について、志望動機と業務内容を話すことができる。			
回	テーマ	内 容	
1～2	業務研究（1）	自衛隊の業務と試験について。	
3～4	業務研究（2）	国家公務員の業務と試験について。	
5～6	業務研究（3）	警察官の業務と試験について。	
7～8	業務研究（4）	市職員の業務と試験について。	
9～10	業務研究（5）	消防官の業務と試験について。	
11～18	面接準備	時事問題研究、受験手続について 志望動機、自己PRの作成、面接準備	
19～33	問題演習（1）	高卒程度公務員試験、教養（基礎能力）試験対策 国家公務員試験対策、東京消防試験対策を中心に。	
34～47	問題演習（2）	高卒程度公務員試験、教養（基礎能力）試験対策 地方公務員試験（市役所、警察官、消防官）を中心に	
48～60	問題演習（3）	高卒程度公務員試験、教養（基礎能力）試験対策 地方公務員試験（県・政令市職員、国家公安系職員）を中心に	
教科書・教材	評価基準	評価率	その他
各科目教科書、レジュメ、プリント。 TAC校内模擬試験。	科目評価 模擬試験 課題	60% 20% 20%	

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態			
プラスワン I	公務員学科／1年	2025／前期	演習			
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択			
90分	15回	2単位(30時間)	必須			
授業の概要						
公務員試験における「文系知識」「理系知識」「文系知能」「理系知能」「文章記述」の各分野においてプラス1点を目指してACTSで開発した動画教材を受講し、過去問などの演習で実践力を養成する。						
授業終了時の到達目標						
公務員試験の頻出分野における学生の苦手意識を払しょくし、模擬試験のボーダーラインを突破する。また、文章記述の演習を通じて、面接・作文に求められる他者への説明力を身につける。						
実務経験有無	実務経験内容					
時間外に必要な学修						
事前課題の予習・事後課題の復習						
回	テーマ	内容				
1	文系知能攻略①	すらら学習、およびACTS文系知能(文章読解系)①の受講+問題演習				
2	理系知識攻略①	すらら学習、およびACTS理系知識(自然科学)①の受講+問題演習				
3	文系知識攻略①	すらら学習、およびACTS文系知識(社会・人文科学)①の受講+課題演習				
4	理系知能攻略①	すらら学習、およびACTS理系知能(数的・判断・資料)①の受講+課題演習				
5	文章記述攻略①	すらら学習、およびACTS文章記述(作文系)①の受講+問題演習				
6	文系知能攻略②	すらら学習、およびACTS文系知能(文章読解系)②の受講+問題演習				
7	理系知識攻略②	すらら学習、およびACTS理系知識(自然科学)②の受講+問題演習				
8	文系知識攻略②	すらら学習、およびACTS文系知識(社会・人文科学)②の受講+課題演習				
9	理系知能攻略②	すらら学習、およびACTS理系知能(数的・判断・資料)②の受講+課題演習				
10	文章記述攻略②	すらら学習、およびACTS文章記述(作文系)②の受講+問題演習				
11	文系知能攻略③	すらら学習、およびACTS文系知能(文章読解系)③の受講+問題演習				
12	理系知識攻略③	すらら学習、およびACTS理系知識(自然科学)③の受講+問題演習				
13	文系知識攻略③	すらら学習、およびACTS文系知識(社会・人文科学)③の受講+課題演習				
14	理系知能攻略③	すらら学習、およびACTS理系知能(数的・判断・資料)③の受講+課題演習				
15	文系知能攻略③	すらら学習、およびACTS文章記述(作文系)③の受講+問題演習				
教科書・教材	評価基準	評価率	その他			
ACTS開発教材	課題	100%	【準備学習】事前課題が指示された分野は、事前に解いておく。			

作成者：内海 恭

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
漢字発展 I	公務員ビジネス学科／1年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択
90分	30回	3単位（45時間）	必須

授業の概要

漢字検定準2級を目標に、漢字能力、国語能力を高める。

【実務経験】盈進中高等学校で、社会科教師として、33年勤務した。

授業終了時の到達目標

漢字検定準2級以上合格

回	テーマ	内容
1	漢字テスト（1）	読み、同音・同訓異字（1）
2	漢字テスト（2）	熟語の構成、漢字の識別（1）
3	漢字テスト（3）	対義語・類義語（1）
4	漢字テスト（4）	対義語・類義語（2）
5	漢字テスト（5）	四字熟語、送り仮名（1）
6	漢字テスト（6）	書き取り、誤字訂正（1）
7	漢字テスト（7）	書き取り、誤字訂正（2）
8	漢字テスト（8）	読み、同音・同訓異字（2）
9	漢字テスト（9）	熟語の構成、漢字の識別（2）
10	漢字テスト（10）	対義語・類義語（3）
11	漢字テスト（11）	対義語・類義語（4）
12	漢字テスト（12）	四字熟語、送り仮名（2）
13	漢字テスト（13）	書き取り、誤字訂正（3）
14	漢字テスト（14）	書き取り、誤字訂正（4）
15	漢字テスト（15）	読み、同音・同訓異字（3）
16	漢字テスト（16）	読み、同音・同訓異字（4）
17	漢字テスト（17）	熟語の構成、漢字の識別（3）

回	テ　ー　マ	内　　容		
18	漢字テスト（18）	対義語・類義語（5）		
19	漢字テスト（19）	対義語・類義語（6）		
20	漢字テスト（20）	四字熟語、送り仮名（3）		
21	漢字テスト（21）	四字熟語、送り仮名（4）		
22	漢字テスト（22）	書き取り、誤字訂正（5）		
23	漢字テスト（23）	熟語の構成、漢字の識別（4）		
24	漢字テスト（24）	書き取り、誤字訂正（5）		
25	漢字テスト（25）	四字熟語、送り仮名（5）		
26	漢字テスト（26）	対義語・類義語（7）		
27	漢字テスト（27）	読み、同音・同訓異字（3）		
28	漢字テスト（28）	読み、同音・同訓異字（4）		
29	総まとめテスト（1）	検定対策　過去問演習 総復習（1）		
30	期末試験	期末試験（問題演習から）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
旺文社『漢検でる順問題集準2級・2級6訂版、準1級改訂版』		期末試験 課題 確認テスト	50.0% 30.0% 20.0%	

授業概要				
科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態	
PC演習	公務員学科／1年	2025／後期	演習	
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	柿本 尚穂
授業の概要				
<p>卒業後の業務や進級後の資料作成などに必要となるパソコン技能のうち、表集計・グラフ作成・関数の利用など初步的なエクセル操作、および文書作成、チラシ作成など初步的なWordの操作を学ぶ。</p> <p>外部講師を招いて生成AIの使い方を学ぶ。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>文書作成、チラシ作成など初步的なWordの操作が出来るようになる。</p> <p>表計算・グラフ作成・関数の利用など初步的なExcelの操作が出来るようになる。</p>				
回	テーマ	内容		
<u>1-2</u>	Wordの学習	タイピングの練習／Windowsの基礎		
<u>3-4</u>	Wordの学習	Wordの基本操作（入力方法や印刷方法）		
<u>5-6</u>	Wordの学習	複写・削除・移動／編集機能／表の編集		
<u>7-8</u>	Wordの学習	アイコン・イラストの挿入／ワードアート		
<u>9-10</u>	Wordの学習	スクリーンショット／図形の描画		
<u>11-12</u>	Excelの学習	SUM関数、ファイルの保存と呼び出し、印刷		
<u>13-14</u>	Excelの学習	行、列の削除・挿入・移動／AVERAGE関数／罫線		
<u>15-16</u>	Excelの学習	相対参照と絶対参照／簡単な関数		
<u>17-18</u>	Excelの学習	条件の判定（IF関数とネスト）／条件付き書式		
<u>19-20</u>	Excelの学習	さまざまなグラフの作成		
<u>21-28</u>	生成AI（外部講師）	生成AIの基本と活用体験 Googleの活用方法／グループワーク		
<u>29-30</u>	PowerPointの学習	PPでプレゼン資料をつくり、プレゼンする。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
30時間でマスターWord 2021		課題作成	80%	
30時間でマスターExcel 2021		プレゼンテーション	20%	

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
実務基礎	公務員学科／1年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	8回	1単位(15時間)	必須
授業の概要			

公務員試験面接試験対策

授業終了時の到達目標

公務員試験面接試験において自信をもって適切な回答ができる。

回	テーマ	内容	
1	面接試験対策 面接試験で問われること	面接試験の意味、面接試験の種別について 面接試験への基本的対応について	
2	面接試験対策 入・退室	面接試験での動作について 入・退室、礼の仕方、発声などについて	
3	面接試験対策 面接カード(1)	面接カードの内容、意味について 面接カードの作成	
4	面接試験対策 面接カード(2)	面接カードの作成	
5	面接試験対策 質疑・応答(1)	具体的質問について回答を考案 グループ討議	
6	面接試験対策 質疑・応答(2)	具体的質問について回答を考案 グループ討議	
7	面接試験対策 質疑・応答(3)	具体的質問について回答を考案 グループ討議	
8	期末試験	模擬面接試験	
教科書・教材		評価基準	評価率
プリント・レジュメ		期末試験 課題	50% 50%
			授業態度により20 点を限度に加点ま たは減点すること あり。

作成者:内海 恭

科目名	学科／学年	年度／時期	授業形態
実務研究 a	公務員ビジネス学科／1年	2025／後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択
90分	15回	2単位(30時間)	必須

授業の概要

次年度の高卒程度公務員試験1次教養試験合格をめざし、また、社会人としての教養を身につけるため、社会における身近な問題に目を向ける。

【実務経験】盈進中高等学校で、社会科教師として、33年勤務した。

授業終了時の到達目標

高卒程度公務員模擬試験において50%以上の正解率

回	テーマ	内容
1	社会に目を向ける	消費者問題1
2	社会に目を向ける	消費者問題2
3	社会に目を向ける	社会保障1
4	社会に目を向ける	社会保障2
5	社会に目を向ける	環境問題1
6	社会に目を向ける	環境問題2
7	社会に目を向ける	株の仕組み1
8	社会に目を向ける	株の仕組み2
9	社会に目を向ける	労働問題1
10	社会に目を向ける	労働問題2
11	社会に目を向ける	食糧問題1
12	社会に目を向ける	食糧問題2
13	社会に目を向ける	裁判員制度1
14	社会に目を向ける	裁判員制度2
15	期末試験	期末試験(授業内容より)

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	期末試験 課題 確認テスト	50.0% 30.0% 20.0%	

作成者:大賀崇宏

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
実務研究 b		公務員学科／1年	2025／後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(15時間)	必須	大賀 崇宏

授業の概要

次年度の高卒程度公務員試験最終合格をめざし、官公庁の行政課題について研究を行う。

面接試験対策の一環として、クラス活動を通して「人間力」向上、コミュニケーション力向上を図る。

授業終了時の到達目標

官公庁の行政課題について、具体的な事例についての豊かな知識を有する。

クラス内での団結力を高め、発言力を強化する。

回	テ　ー　マ	内　容
1	行政課題 事例研究（1）	時事問題から行政の関わる問題について事例を取り上げ、講義を行う。
2	行政課題 事例研究（2）	時事問題から行政の関わる問題について事例を取り上げ、講義を行う。
3	行政課題 事例研究（3）	時事問題から行政の関わる問題について事例を取り上げ、講義を行う。
4	行政課題 事例研究（4）	時事問題から行政の関わる問題について事例を取り上げ、講義を行う。
5	課題研究（1）	グループ研究の準備 グループ分け、テーマ選定
6	課題研究（2）	グループ研究の準備 テーマ選定
7	グループ研究・集団討議（1）	グループ活動を通して、集団討議する実践。 時事問題のテーマに沿って問題を討議し、対応策について話し合う。
8	グループ研究・集団討議（2）	クラス活動を通して、集団討議する実践。 時事問題のテーマに沿って問題を討議し、対応策について話し合う。
9	グループ研究・集団討議（3）	クラス活動を通して、集団討議する実践。 時事問題のテーマに沿って問題を討議し、対応策について話し合う。
10	グループ研究・集団討議（4）	クラス活動を通して、集団討議する実践。 時事問題のテーマに沿って問題を討議し、対応策について話し合う。
11	中間成果発表	これまでの研究・討議結果を全体で発表する。
12	グループ研究・集団討議（5）	中間成果発表を受けて、さらに研究内容を深める。 研究成果発表の準備を行う。
13	グループ研究・集団討議（6）	中間成果発表を受けて、さらに研究内容を深める。 研究成果発表の準備を行う。
14	研究結果発表（1）	グループ研究の成果について発表 相互に講評を行う
15	研究結果発表（2）	グループ研究の成果について発表 相互に講評を行う

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
プリント・レジュメ	研究成果課題 中間課題	50% 50%	授業態度により20点を限度に加点または減点することあり。

作成者:佐々木美保				
科 目 名	学科／学年	年度／時期	授業形態	
数理発展a	公務員学科／1年	2025／後期	講義	
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	佐々木美保
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> (数学) 数学3級～準2級程度の演習をする。 (FP) 自己のライフプランについて学ぶ。金利、為替、株価について学習し、投資のシミュレーションをしてみる。 (簿記の基礎) 企業の簿記の基礎について学ぶ。 				
授業終了時の到達目標				
数学は、数検3級から準2級程度の関数や図形の問題が6割以上解けるようになること。FPでは、自己の資産形成について意識を高められるようになること。簿記の基礎では、B/S、P/Lの仕組みについて理解すること。				
回	テ　ー　マ	内　容		
1	(数学) 1次関数	1次関数、比例・反比例の式とグラフを学習する。変化の割合、座標などを求める問題、応用問題に取り組む。		
2	(数学) 2次関数	2次関数の式の形、平方完成の仕方を学習する。グラフの形、最小値・最大値の求め方を学習する。		
3	(数学) 平面図形	三平方の定理、相似の問題、中点連結定理を使った問題等、応用問題に取り組む。		
4	(数学) 空間図形	直方体、円錐、三角錐、球体などの体積、表面積を求める問題に取り組む。		
5	(FP) ライフプランニング	個人のライフプランニングの立て方を学習する。自分のライフイベントを想定して生涯の収入と支出を描いてみる。		
6	(FP) 為替・金利と株価	為替や金利と株価の関係について。また、利息の計算方法について学習する。		
7	(FP) 投資	株式投資の模擬体験を行い、損益の計算方法、投資利回りやリスク分散等の学習をする。		
8	(FP) ライフプランのまとめ①	個人のライフプランと投資シミュレーションをExcelやパワーポイントでまとめる。		
9	(FP) ライフプランのまとめ②	プレゼンテーションする。学生同士で評価する。		
10	(簿記の基礎) 会社の会計①	株式会社の会計、貸借対照表と損益計算書について基本的なことを学習する。		
11	(簿記の基礎) 会社の会計②	仕訳について学習する。五要素について学習する。		
12	(簿記の基礎) 会社の会計③	いろいろな勘定科目について学習する。		
13	(簿記の基礎) 会社の会計④	勘定科目ごとの総勘定元帳について学習する。		
14	(簿記の基礎) 会社の会計⑤	最終的に貸借対照表と損益計算書につなげていく演習に取り組む。		
15	期末テスト	期末試験を実施する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
オリジナル教材(プリント)		期末テスト 課題提出	40% 60%	

科 目 名		学 科 / 学 年	年 度 / 時 期	授 業 形 态
数理発展b		公務員学科／1年	2025／後期	講義
授業時間	回 数	単 位 数 (時 間 数)	必 須 ・ 選 択	担 当 教 員
90分	15回	2単位 (30時間)	必須	柿本 尚稔
授 業 の 概 要				

卒業後に公務員や民間企業に就業するにあたり、実務に必要なPCスキル、情報リテラシーなどを学ぶ。

授業終了時の到達目標

以下の到達目標を達成し段階的評価を実施する

A : IT関連の国家資格に挑戦するためのスキルが備わっている

B : 公務員の実務に携わるのに十分なITスキルが身に付いている

C : 公務員の実務に携わるのに最低限必要なITスキルが身に付いている

回	テ ー マ	内 容	
1	i-But試験の対策①	i-But試験の公式テキストで情報リテラシーを学ぶ	
2	i-But試験の対策②	i-But試験の公式テキストで情報リテラシーを学ぶ	
3	ストラテジ系①	社会におけるIT利活用の動向 会計・財務の基礎知識	
4	ストラテジ系②	業務分析手法 図表やグラフによるデータ可視化	
5	ストラテジ系③	知的財産権 セキュリティ関連法規	
6	ストラテジ系④	経営情報分析手法	
7	ストラテジ系⑤	AIの利活用 IoTシステム・組込みシステム	
8	マネジメント系	監査業務 内部統制	
9	テクノロジ系①	2進数 集合と論理演算	
10	テクノロジ系②	ハードウェア ソフトウェア	
11	テクノロジ系③	トランザクション処理 ネットワーク	
12	生成AIリテラシー	生成AIの使い方や使う上で気を付けなければならない事柄などを学ぶ	
13	生成AI体験	実際にGenimiやCanvaを使ってみる	
14	応用演習(EXCEL)	IF関数(ネスト) VLOOKUP関数などを使いこなす練習 実務でExcelが使えるように訓練する	
15	期末試験	期末試験	
教科書・教材	評価基準	評価率	その他の評価
i-But試験 公式テキスト IPパスポート試験ドッコム プリント他	期末テスト 課題作成	50% 50%	

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
実務研修 A		公務員学科／1年	2025／後期	講義
90分	60回	8単位（120時間）	必須	広島県警察学校 ／海上保安学校

授業の概要

広島県警察学校10月採用者を対象に、広島県警察学校における初任科教育・訓練を行う。

海上保安学校10月採用者については、警察学校の内容に準じて初任科教育・訓練を行う。

授業終了時の到達目標

県民から信頼される警察官として、職務が遂行できる能力を身につけ実践できる。

国家公務員として信頼される海上保安官として、職務が遂行できる能力を身につけ実践できる。

回	テーマ	内 容
1	職務倫理（1）	訓育・警察官に求められる基本的心構え等
2	職務倫理（2）	訓育・警察官に求められる基本的心構え等
3	職務倫理（3）	訓育・警察官に求められる基本的心構え等
4	法学（1）	憲法、警察行政法、刑法、刑事訴訟法、民法
5	法学（2）	憲法、警察行政法、刑法、刑事訴訟法、民法
6	法学（3）	憲法、警察行政法、刑法、刑事訴訟法、民法
7	基本実務（1）	社会、警務、生活安全、地域、捜査、鑑識、交通、警備等
8	基本実務（2）	社会、警務、生活安全、地域、捜査、鑑識、交通、警備等
9	基本実務（3）	社会、警務、生活安全、地域、捜査、鑑識、交通、警備等
10	術科（1）	点検・礼式・教練、柔道、剣道、逮捕術、けん銃等
11	術科（2）	点検・礼式・教練、柔道、剣道、逮捕術、けん銃等
12	術科（3）	点検・礼式・教練、柔道、剣道、逮捕術、けん銃等

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
広島県警察学校および海上保安学校による	課題	100%	

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
実務研修 B		公務員学科／1年	2025／後期	演習
90分	53回	3単位 (105時間)	必須	広島県警察学校 ／海上保安学校

授業の概要

広島県警察学校 10月採用者を対象に、広島県警察学校における初任科教育・訓練を行う。

海上保安学校 10月採用者については、警察学校の内容に準じて初任科教育・訓練を行う。

授業終了時の到達目標

県民から信頼される警察官として、職務が遂行できる能力を身につけ実践できる。

国家公務員として信頼される海上保安官として、職務が遂行できる能力を身につけ実践できる。

回	テーマ	内 容
<u>1</u>	職務倫理（1）	訓育・警察官に求められる基本的心構え等
<u>2</u>	職務倫理（2）	訓育・警察官に求められる基本的心構え等
<u>3</u>	職務倫理（3）	訓育・警察官に求められる基本的心構え等
<u>4</u>	法学（1）	憲法, 警察行政法, 刑法, 刑事訴訟法, 民法
<u>5</u>	法学（2）	憲法, 警察行政法, 刑法, 刑事訴訟法, 民法
<u>6</u>	法学（3）	憲法, 警察行政法, 刑法, 刑事訴訟法, 民法
<u>7</u>	基本実務（1）	社会, 警務, 生活安全, 地域, 捜査, 鑑識, 交通, 警備等
<u>8</u>	基本実務（2）	社会, 警務, 生活安全, 地域, 捜査, 鑑識, 交通, 警備等
<u>9</u>	基本実務（3）	社会, 警務, 生活安全, 地域, 捜査, 鑑識, 交通, 警備等
<u>10</u>	術科（1）	点検・礼式・教練, 柔道, 剣道, 逮捕術, けん銃等
<u>11</u>	術科（2）	点検・礼式・教練, 柔道, 剣道, 逮捕術, けん銃等
<u>12</u>	術科（3）	点検・礼式・教練, 柔道, 剣道, 逮捕術, けん銃等

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
広島県警察学校および海上保安学校による	課題	100%	